

平成26年（2014）12月2日～4日

平成26年度（2014）

第3回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

平成26年度（2014）第3回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

12月2日（火） 10:00 開会			12月3日（水） 10:00 開会			12月4日（木） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	渡部 勝	3	1	保科 孝充	9	1	松村 豪人	18
2	原 正雄	3	2	長廻 利行	10	2	小村 吉一	19
3	米山 広志	4	3	岸 道三	11	3	萬代 輝正	20
4	遠藤 力一	4	4	大場 利信	12 ～ 13	4	板倉 一郎	21
5	川上 幸博	5	5	大國 陽介	14 ～ 15	5	井原 優	22 ～ 23
6	勝部 順子	6	6	伊藤 繁満	16	6	珍部 全吾	24
7	大谷 良治	7	7	寺本 淳一	17	7	板垣 成二	25 ～ 26
8	福島 孝雄	8	8	神門 至	18	8	湯淺 啓史	27

質問者	6	渡 部 勝		
質問事項・質問内容			答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 2市4町で合併して来年で10年を迎えるにあたり市長の思いを伺う			市長	
<p>① 平成17年3月2市4町で合併して早いもので来年で10年を迎える。当時合併協議会を設置して協議した結果、新出雲市の建設計画「日本のふるさと出雲の国づくり」を作成しました。そこで10年の節目を迎えるにあたり市長に対し次の点について質問をいたします。</p> <p>ア 合併時新出雲市にどのような期待とまた不安があったのか</p> <p>イ 合併協定項目の約何パーセントが実施されたのか</p> <p>ウ 一番の成果はなにか</p> <p>エ 反省点があるとすればなにか</p> <p>オ 今後出雲市をどのように導いていくのか 以上伺います。</p>				

質問者	8	原 正 雄		
質問事項・質問内容			答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 「出雲未来図」の前期基本計画の3年目の評価と見通しについて			市長	
<p>① 6本の柱を主軸とする基本計画の進捗状況を把握、評価し補正する体制はどの様にお考えですか。</p> <p>② 出雲未来図が基軸なる「地方創生」出雲版を年内にも「長期ビジョン」及び「総合戦略」を決定するとのことですが、どの様な体制で取り組まれるのか。</p>				

質問者	27	米 山 広 志		
質問事項・質問内容			答 弁 を 求める者	記 事
(1) 幼稚園職員			市長	
① 専任園長と嘱託園長は何名か				
② 講師が担任している園数と勤務実態と処遇 ③ 教諭の育休・私傷病休暇等の後補充				
(2) 小・中学校事務職員			市長	
① 各小・中学校の正規職員と非正規職員の数				
② 未配置の小・中学校数				
③ 育休・私傷病休暇等の対応 ④ 今後の事務支援体制				
(3) 水道事業			市長	
① 平成29年度からの簡易水道統合による改定が必要か、料金改定の見込				
② 斐川宍道水道企業団の現状の料金と簡易水道統合後の料金				
③ 斐川宍道水道企業団との統合の進捗とメリット				

質問者	18	遠 藤 力 一		
質問事項・質問内容			答 弁 を 求める者	記 事
(1) 手話に関する基本条例の制定について			市長	
① 出雲市において手話に関する基本条例の制定を求めるが所感を伺う。				

質問者	22 川上幸博		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 防災対策について		防災安全 管理監	
<p>① 出雲市地域防災計画の災害予防に関する計画（特に風水害と土石流災害予防）について</p> <p>ア 風水害予防として、斐伊川流域は、防災上大きな問題を抱えていると概況に記載してあるが具体的にはどのような問題があるのか。また、その課題克服に向けた取り組みはどのようにされているのか伺う。</p> <p>イ 斐伊川、神戸川流域の治水対策、洪水対策の改善が図られたが、中小県河川市河川での治水、洪水対策の進捗状況と今後の整備計画を伺う。</p> <p>ウ 土石流災害予防対策を検証し被害の軽減を図ることが必要とあるが、現在の検証と被害削減に向けた取り組み状況と森林荒廃が土石流防止対策に繋がると考えるが治山事業、森林整備との整備状況もうかがう。</p> <p>エ 島根県は、全国2位の花崗岩地質地帯であるが、8月に発生した広島市での土砂災害を教訓とした防災計画にする必要はないのか伺う。</p> <p>オ 防災無線が整備されているが、進捗状況と今後の計画を伺う。（戸外型と個別設置型）</p>			
(2) 外園海岸保全に向けた取り組み状況		都市建設 部長	
<p>① 島根県による大社湾の土砂管理計画における湾内海底の深淺測量の調査実施における結果と分析状況について</p> <p>② 外園海岸ほかの浸食防止策と湾全体の土砂収支について</p> <p>ア 海岸への流入量と覆砂などで海岸よりの流出のバランス</p> <p>イ 斐伊川放水路からの放水時の沈砂池から砂を海岸部への搬入を考えてもよいのではないかと思うが執行部の考えを伺う</p> <p>③ 海岸防風林の植栽状況と今後の計画について伺う。</p> <p>④ 島根県の海岸保全行政と一体となり国土保全、自然環境など取り組む事が必要と考えるが、出雲市の窓口を一本化して行くことが地域保全になると思うが執行部の考えを伺う</p>			
(3) 小学校での英語教育の実施と今後の計画について		教育長	
<p>① 国際理解教育の推進としての英語教育の課題は</p> <p>② 2020年度より小学3年生より英語教育が始まる。現在、小学校では英語助手（AET）、中学校は、外国語指導助手（ALT）が、派遣されているが、今後の増員に向けた取り組みと財源確保策を伺う。</p> <p>③ 小学校教員への英語研修に向けての取り組みを伺う</p> <p>④ 各中学校区での英語教育を通じた小中連携策を検討は行われているのか。</p>			

質問者	26 勝部 順子		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 緊急通報システムの現状と、今後の対応について			
<p>① 「緊急通報システム事業」は、重度の疾患を有する高齢者世帯や重度の身体障がい者のみの世帯に対し、緊急通報装置を貸与することにより、急病、災害時等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図ることを目的に取り組まれている事業です。</p> <p>旧出雲市では、合併前から取り組まれてきました。平成25年度末で、端末装置が291台貸与されています。いざという時の、安心のために喜ばれている事業だと思います。高齢化が進む今だからこそ、必要な事業と考えます。現状と、今後の対応について伺います。</p> <p>ア これまでの利用状況と効果について</p> <p>イ 決算委員会のなかで、今後新たな方法を考えるとの話でありましたが、「緊急通報システム事業」に変わるどんな方策をお考えか伺います。</p>		市長	
(2) 若者の求職活動に対する支援の拡充について			
<p>① ハローワーク出雲の現状と、今後の対応について伺います。月曜日から金曜日まで17時15分で終了します。この時間帯では仕事をしながら、次の職場を探すことが困難であります。</p> <p>ハローワーク出雲の平日の時間延長、土曜日の開設を望む声に応えていただきたい。</p> <p>② ジョブ・ステーション出雲の利用状況と、利用できる日の拡充について伺います。</p>		市長	
(3) 「2014 いずも古着市」の開催について			
<p>① 11月22日・23日に「2014 いずも古着市」が開催されました。</p> <p>ア 市内から集まった、古着の量と残った量。</p> <p>イ 23日の販売の日の、客の人数と売上高。</p> <p>ウ 当日、大変に多くの方が入場され、かなりの待ち時間が発生しました。古着市開催の運営についての感想と今後の取り組みについて伺います。</p>		市長	

質問者	1 大谷良治		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 消防団を中核とした地域防災について		消防長	
① 消防団活動の充実強化について ア 団員確保対策の今までの取組 イ 今後の対策と課題 ウ 消防団支援法の成立による防火体制の強化充実と課題 ② 学校教育の場で行われている防災教育について ア 取組み状況 イ 消防団への理解促進			
(2) 年末年始の渋滞緩和対策について		産業観光 部長	
① 大社周辺の交通渋滞緩和について ア 今までの渋滞対策に対する反省と課題 イ 交通需要予測はどのようにみているのか			

質問者	7 福 島 孝 雄		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容				
(1) 耕作不利地域における環境保全・放棄地対策について		副市長		
<p>① 出雲市全体での耕作不利地域における環境保全・耕作のサポート状況について。</p> <p>ア 今後の耕作放棄地面積の増加割合と地域環境維持の対策について伺う。</p> <p>イ 水田維持対策に於けるサポート状況を伺う。</p> <p>② 斐川地域における（第三セクター）グリーンサポート斐川の役割について。</p> <p>ア 過去5年間における条件不利地域での利用権設定面積と今後の動向を伺う。 （総面積 ・ 圃場枚数 ・ 平均圃場面積 ・ 機械オペレーター人数）</p> <p>イ 経営維持のための取り組み・課題を伺う。</p> <p>ウ 今後出雲市として「グリーンサポート斐川」に対し、どの様に関わっていくかを伺う。</p>				
(2) 農業所得の安定・向上にむけての取り組みについて		市長		
<p>① 水田フル活用ビジョンについて</p> <p>ア 平成28年度目標値に向けての現状と課題を伺う。</p> <p>イ 平成27年度の具体的要綱の決定時期を伺う。</p> <p>ウ 平成26年度産の非主食用米（飼料用米）の収穫状況を伺う。</p> <p>エ 中山間地域での水田フル活用ビジョンが活かされているかを伺う。</p> <p>② 農業所得の安定について</p> <p>ア 米価下落・直接支払交付金の廃止（平成29年度）による収入減少を抑えるための、米生産費減（コスト削減）対策を伺う。</p> <p>イ 平成27年度の収入減少影響緩和対策（ナラシ）の取り組みを伺う。</p> <p>ウ 農地集積と農業所得とのバランスをどう見るかを伺う。</p>				

質問者	1 2 保 科 孝 充		答 弁 を 求 め る 者	記 事
質問事項・質問内容				
(1) 特別養護老人ホーム等の増床と各種保険料軽減の要望にどう答えますか。				
<p>① 第6期（平成27年～29年度）「出雲市高齢者福祉計画、介護保険事業計画」の策定状況について伺う。</p> <p>ア 特別養護老人ホーム等介護施設の増床予定数と現在の待機者数</p> <p>イ 出雲市の介護保険料の予定料金</p> <p>ウ 県内各市介護保険料の予定料金</p> <p>② 国民健康保険事業について伺う。</p> <p>ア 市から島根県へ運営が移る方向と聞いているが、実態はどうか。</p> <p>イ 国保料の徴収、金額設定は今後どのように推移するのか。</p> <p>ウ 国民年金の例をとると、事業が市町村から国へ移ったことによって徴収率が格段に下がったようだが具体的な数字を示していただきたい。</p> <p>③ 今後高齢者が年々増加し、介護施設の増床、各種保険料の値上げなど大きな課題が山積しているが、健康政策を着実に充実してこの難局を克服する他にないかと考える。</p> <p>ア 健康センター等複合施設の整備はどのように考えているか。</p> <p>イ 保健師等職員の充実と体制の整備・・・県内各市の人口当たり保健師数</p>			市長	
(2) 積極的な教育政策の推進を求めます				
<p>① 学カテストの公表はどのように考えているか。</p> <p>ア 市教委としての議論の経過</p> <p>イ 学校現場、保護者の意見</p> <p>ウ 今後公表の考えはないのか</p> <p>② 地域の発展を目指す小中一貫教育校の実現</p> <p>ア 小学校・中学校の一貫教育の現状はどうか</p> <p>イ 統合校・廃校を検討する段階において、一貫教育校の設置を目指す考えは無かったのか。</p> <p>ウ 地域の活性化、人口の定住につながり、地域の理解も得られる前向きな考えでのモデル校の実現</p> <p>③ 外国籍児童生徒の教育策はいかに</p> <p>ア 外国籍の地域別住民数</p> <p>イ 外国籍児童生徒の各校別数</p> <p>ウ 教育現場での対応状況</p> <p>エ モデル校を設置して集中的に実施してはどうか</p>			市長	

質問者	30 長 廻 利 行	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者
(1) 大社町門前町のさらなる飛躍をめざして		記 事
<p>① 大社町門前町は、出雲大社の平成の大遷宮効果で、予想をはるかに超える観光客を迎え、様々な経済効果もあったが、これまでにない大渋滞なども経験し、多くの課題も見えてきたと思われる。</p> <p>そこで、交流人口が飛躍的に増加したという好機を活かして、今まさに出雲のさらなる飛躍をめざす時に来ており、次の60年後の遷宮、100年先を見据えたまちづくりを考えていく必要がある。</p> <p>ア 交通対策について</p> <p>a みせん広場の代替駐車場の場所については、最近の交通事情も踏まえて、総合的に判断すべきと思うがいかがか。</p> <p>イ 宿泊者対策について</p> <p>a 出雲市は宿泊機能が弱いですが、今後も民間施設の誘致や支援をしていく考えはあるか。</p> <p>ウ 神門通り以南の整備について</p> <p>a 神門通り入口にある大社支所、大社消防署はかなり老朽化しているが、将来的に移転新築をし、跡地を利用してはいかがかと思うがいかがか。</p> <p>b ご縁広場（吉兆館）は駐車場としての機能は果たしているが、道の駅としての機能は十分ではない。民間活用も含め、今後の再編整備についての考えがあれば伺う。</p> <p>c ここ数年、神門通りの整備は進んでいるが、神門通りが開通するきっかけとなった旧大社駅までが門前町であり、駅通りの整備と旧大社駅の保存活用策についての考えを伺う。</p>		市長

質問者	2 岸 道 三		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 斐伊川放水路周辺整備事業について		市長	
① 残された25事業についての実施見通し ② 平成27年度に実施予定の事業と内容 ③ いかに調整をはかり、対応していくのか			
(2) トキの一般公開について			
① 環境保全型農業の推進・実践 ② 環境省、佐渡市および他の分散飼育地との連携と信頼関係の構築 ③ 必要な予算措置について		市長	

質問者	9 大場利信	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者 記事
(1) 市の施設への太陽光発電システムの設置について		
<p>① 太陽光という再生可能エネルギーについては、一般住宅に対して「住宅用太陽光発電システム設置費補助」事業により普及を図っているが、市の施設へも積極的に導入し、太陽光エネルギーの普及と電気料金の節約、更に大きくは地球温暖化防止への寄与を図るべきと考えます。このような観点から以下について伺います。</p> <p>ア 市の建物で太陽光発電システムを導入している施設はどこか。</p> <p>イ 市の本庁舎には太陽光発電システムが導入されているが、</p> <p> a 設置費（初期投資額）はいくらか</p> <p> b 年間使用電力量はいくらか</p> <p> c 電力会社への「売り値」と電力会社による「買い値」を相殺し、年間いくらの電気料金を支払っているのか</p> <p> d 初期投資額が回収できるのは概ねいつ頃になるのか</p> <p>ウ 学校を含めて建物が建設されているあるいはされようとしているが、計画的に太陽光発電システムを導入する意向はあるのか、また、既設の建物への導入はどうか併せて伺う。</p> <p>エ 国・県の有利な補助制度はあるのか。</p> <p>オ 導入するのに障害となるのはどういう点か（財政上の制約も含めて）。</p>		市長
(2) アルコール健康障がい対策について		
<p>① アルコール健康障害対策基本法が平成26年6月1日に施行されましたが、これに関し、以下の点を伺います。</p> <p>ア 出雲市における問題飲酒者の現状について</p> <p> a アルコール依存症と推定される人数</p> <p> b アルコール依存症による入院患者数</p> <p> c 断酒新生会への加入者数</p> <p>イ 市の健康福祉部として問題飲酒者に対し今日までどのように対応されてきたのか。</p> <p>ウ 大きな役割を果たしておられる断酒新生会に対する市の支援について</p> <p>エ 法律の制定を受け、今後の計画と市の具体的施策について</p>		市長

(3) 自治会未加入者への災害ハザードマップ等の配布について	防災安全管理監	
<p>① 自治会あるいは町内会に加入し、地域の絆によって自分や家族の命や安全を守ることを基本としつつも、洪水などの大災害あるいは原子力災害の際には、自治会への加入者および未加入者を問わず、安全かつ整然と指定された避難所へ避難することが肝要であると考えます。自治会未加入者が多いという実態も勘案し、敢えて以下の点について伺います。</p> <p>ア 自治会未加入者に対し、災害ハザードマップおよび原子力防災ガイドブックは、現在どのように配布されているか。</p> <p>イ こと人命にかかわることであり、全市民に行き渡ることが必要である。全市的に同一の対処方法、例えばコミセン単位で、地域の団体やボランティアの力を借り、自治会未加入者へ届ける方法を考えても良いと思うが、この点について伺う。</p>		

質問者	16 大 国 陽 介	
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者 記 事
(1) 税や国民健康保険料を滞納されている方への対応について		
<p>① アベノミクスの影響による物価の上昇や年金の相次ぐ減額で中小業者と市民のくらしの実態は深刻になっている。さらに消費税の増税によって個人消費は落ち込み、まさに増税不況ともいえる。このもとで高すぎる国民健康保険料や税金を支払うことができない市民に対し、差し押さえや生活実態を考慮しない無理な納付約束を交わすなど、「徴収ありき」の機械的な対応がなされている。一日も早い改善を求める。</p> <p>ア 昨年度と今年度において、差し押さえを実施した件数は何件か。預貯金口座、動産、不動産、給料、売掛金などそれぞれについての件数を示されたい。</p> <p>イ 滞納処分の執行停止件数、法に基づく「徴収の猶予」を認めた件数を示されたい。</p> <p>ウ 「児童手当をねらった差押えは違法」とした鳥取地裁判決及び広島高裁判決を受け、本市においてはどのような改善・見直しがなされたのか、具体的に示されたい。</p> <p>エ 滞納者の生活再建のためにも滞納額を全額納めることができない場合においては、支払い分は現年分への充當を優先すべきと考えるが、いかがか。</p> <p>オ 「滞納金には延滞金が課せられるので借りて支払っている方もいる」という事例を紹介し、相談者に対し借金をして支払うよう促している実態がある。相談者を経済的にも精神的にも追いつめるものであり、不適切であるといわざるを得ない。改善を求める。</p>		市長
(2) 「第3子保育料無料」見直しの撤回を		
<p>① 来年度から「第3子保育料無料」が見直され、住民税非課税世帯を除き、保育料の2分の1の負担を求めるとされている。対象の保護者からは「無料であることに後押しされたが、途中でやめるとは無責任すぎる」「将来の学費負担が心配なのに積み立てができなくなり、今後は心配」など、不安と失望の声があがっている。</p> <p>ア 現在の制度適用児童数と保護者数、第3子無料のための市の上乗せ負担額を示されたい。</p> <p>イ 「見直し」が実施された場合、保護者の負担増は市全体でいくらになるか。</p> <p>ウ 「見直し」は、子育て支援の充実と少子化の克服に逆行するものであり撤回すべきと考える。子育ての負担軽減こそあれ、負担増などあってはならないと考えるが、いかがか。</p>		市長

<p>(3) 誘致企業への補助金支出と雇用確保について</p>	<p>市長</p>	
<p>① 県外からの誘致企業の雇用者数は、新規の立地があるにもかかわらず、この3年間で増えるどころか減少している。誘致企業に対し多額の補助金を支出しており、特に大企業にはその体力にふさわしい社会的な責任があると考えます。</p> <p>ア 市内に立地する誘致企業に対し、県と市とでこの5年間でいくらの補助金が支払われたのか示されたい。</p> <p>イ 雇用者数は同じ時期にいくら増えたのか、正規職員、非正規職員（派遣含む）ごとに示されたい。</p> <p>ウ 多額の補助金などの優遇策を講じている企業誘致のあり方の検証が必要と考えますが、いかがか。</p> <p>エ 多額の補助金を受け取っている誘致企業には、雇用を確保する責任と地域経済への貢献が求められる。安定した雇用を増やすこと、市内業者と取引を拡大することを強く要請すべきと考えますが、いかがか。</p>		
<p>(4) 幼稚園で働く臨時職員の待遇改善を</p>	<p>市長</p>	
<p>① 幼稚園の関係者から教職員の雇用形態や待遇等について、「職員の半数以上が臨時職」「臨時でありながらクラス担任を受け持つなど責任に見合った待遇とは言えない」など疑問の声があがっている。次代を担う子ども達の教育に責任を負うという重要な職であるにもかかわらず、非正規雇用が当たり前になっている実態は、職員のみならず子ども達にとっても良いことではない。</p> <p>ア 雇用は正規雇用を原則とするとともに、臨時であってもその仕事と責任にふさわしい待遇であるべきと考えます。抜本的な改善を求めるが、いかがか。</p>		

質問者	1 1 伊 藤 繁 満		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 斐伊川の河床低下防止対策について伺う。			
<ul style="list-style-type: none"> ① 伊萱堰下流の中流部における河床低下進行が治水面に与える影響について。赤川の直轄管理区間を含め河床低下は著しい状況にある。斐伊川放水路に流入する堆積砂防止 ② 伊萱堰下流の中流部における河床低下進行が利水面に与える影響について。旧2市2町の水利施設（農業水利）、上水道施設についてはどうか。 ③ 著しい河床低下によって斐伊川の堤外地、堤内地に棲息する魚介類等の生態系に変化はあるのか。 ④ 河床低下防止に複数の床止め工設置は有効な方法と考えられるが国土交通省等、国、県当局に強く働きかける時期ではないか。 		市長	

質問者	5 寺本 淳一	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者
(1) 市民への防災意識向上対策について		記事
<p>① 大規模な災害が毎年のように全国で発生しています。今年の8月には広島市安佐地区をはじめ、兵庫、京都、高知、福岡、秋田など広範囲に発生したことから「平成26年8月豪雨」と命名されています。このような状況の中、全国でもDIG訓練が広がってきていて、市でも少しずつ各地区で行われるようになっていきます。地域防災力向上に向けたこの訓練は、自助公助共助の確立と危険予知に有効な訓練であると考えます。そこで伺います。</p> <p>ア 災害図上訓練DIGの推進対策について</p> <p> a DIGの目的とその効果は。</p> <p> b 現在までにDIGを実施された地区は。</p> <p> c この訓練を全地区に広めるべきと思うが市としての考えは。</p>		防災安全 管理監
(2) 学力調査結果の公表について		
<p>① 9月の教育委員会定例会で「学力調査の学校別結果の公表について」の協議が行われ、学校の保護者、地域学校運営理事会に対しては、学校別平均正答率を示して学校が説明をし、市全体に対しては、分析結果や改善策等を文章表現で行う方向性が示されました。またその議論の中で、全体への数値の公表については「共通理解が図られていない」「テスト対策の過熱化」「市全体の受け止める素地ができていない」などの意見から将来段階的に進めていくとの結論になりました。そこで二点伺います。</p> <p>ア 全体へ学力調査結果（数値）を公表しないことについての認識を伺います。（公表することでどのような弊害があるのか具体的に説明をお願いします。）</p> <p>イ 公表は段階的にとの協議でしたが、ある程度具体的な時期や方法（目標）は必要と考えますが、今後どのように進めていかれるのか。</p>		教育委員長

質問者	4	神 門 至		
質問事項・質問内容			答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 第26回出雲全日本大学選抜駅伝競走の中止について			文化環境 部長	
① これまで開催されてきた出雲駅伝について、どのように総括されているのか伺います。また、今回の中止に伴う総括について伺います。 ② 今回の出雲駅伝に要した経費の支出額について伺います。 ③ 次年度以降の考え方について伺います。				
(2) 仏経山の登山道などの整備について				
① 市内に位置する登山道（案内看板等）などの現状について、どのように把握されているのか伺います。 ② また、今後、どのように自然歩道の環境整備していく考えがあるのか伺います。			産業観光 部長	
(3) 豪雪（雪害）の対策について			市長	
① 豪雪時の豪雪体制を含めた具体的な対策について、市の考えを伺います。 ② また、豪雪時に孤立した地域への具体的な対応について伺います。				

質問者	17	松 村 豪 人		
質問事項・質問内容			答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) 地方創生に対応し人口減少、過疎化対策を			市長	
① 合併後10年が経過したが、特に周辺地域の農村、漁村では人口流出、過疎化が顕著であり危機感を持っている。先頃、地方創生関連2法案が成立し、このような状況下で政府の地方創生に大いに期待するものである。本市としてこの地方創生にどう対応し、人口減少の克服をどのように進める考えか。				

質問者	15 小村吉一		答弁を 求める者	記 事
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記 事	
(1) 消費税増税は「先送り」でなく中止を		市長		
① 市民の生活が逼迫する中、消費税増税は「先送り」でなく、キッパリと中止すべきだと考えるが、市長の見解を伺います。				
(2) 使用料、手数料の見直しについて		市長		
<p>① 市民の生活が逼迫する今、なぜ使用料手数料の値上げをするのか伺う。</p> <p>② 公共施設は、住民の福祉を増進する目的を持って作られたもので、住民が利用し、享受することに意義がある。そういった点から、無料ないしは、低額で使いやすいことが第1だと考え、いくつか伺う。</p> <p>ア 今までの料金は、どんな考え方・規準で設定されていたのか。</p> <p>イ 受益者負担という考え方は、公共施設の設置目的からふさわしくないものとするが、あえて導入された根拠は何か。</p> <p>ウ 受益者負担のベースとして、人件費などを含めた維持管理費が設定されているが、税でまかなうのが原則ではないか。また、施設分類ごとに、負担割合を異にしているが、その数字の根拠は？</p> <p>③ 使用料、手数料の見直し（値上げ）については、一定の住民の合意が必要であるとするが、今までどのような住民へ合意形成がされたのか。また、今後どのように行おうとしているのか伺う。</p>				
(3) 放課後児童クラブの充実を求めて				
<p>① 放課後児童クラブは、今やその施設数及び児童数から見て、（市内の全児童数から考えても）その教育的存在価値は大きなウェイトを占めるものとなっている。ことに来年度からその対象児童が6年生まで拡大され、施設の整備がともなわず、待機児童も予想される。そこで、いくつか伺う。</p> <p>ア 放課後児童クラブの施設状況と来年度に向けた対応について</p> <p>イ 放課後児童クラブは、児童の健全育成を図ることを目的としているが、現在どのような取り組みがなされ、市としてどのような支援をしているのか。</p> <p>ウ 児童の健全育成を図る施設として、どんな問題点があり、今後どのように改善しようとしているのか。</p>		市長		

質問者	19	萬代輝正	
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 上塩冶スポーツセンターの利用状況並びに維持管理費		市長	
① 利用状況について ② 維持管理費について、開設からの維持管理費の推移と内訳 ③ 今後の方向性の検討状況について			
(2) 指定管理者制度の見直し状況と再来年へ向けてのスケジュール			
① 平成28年4月からの指定管理者更新の数と総委託金額 ② 現況での制度の問題点の認識と改善見込みのものは ③ 公募・非公募の基本的な考え方の整理を具体的に ④ 管理者更新までのスケジュールは ⑤ 制度全体の見直しを進める具体的な組織は		行政改革 部長	

質問者	20 板倉一郎		答弁を 求める者	記事
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事	
(1) 行財政改革について		市長		
<p>① 平成25年2月に、市民向けの資料として「出雲市の台所事情（出雲市財政白書）」を各家庭に配布され行財政改革の必要性を説明されたが、以降市民向けの説明がない。そこで次の点を伺う。</p> <p>ア 行財政改革の計画に対し、実績はどうなっているのか伺う。</p> <p>イ 今後の進め方について伺う。</p> <p>ウ 市民向けに、毎年「出雲市の台所事情」を作成し報告すべきと考えるがその考えを伺う。</p> <p>② 政府において、消費税の10%引き上げの先送りが表明された。その影響について伺う。</p> <p>③ 市民生活も、円安による物価上昇や消費税の増税などにより厳しい、市民生活に直接影響の出る使用料手数料などについて、現在見直しを検討しているものについて伺うとともに、時期を見直す考えはないか伺う。</p>				
(2) 旧出雲市市街地エリアの水害対策について		都市建設 部長		
<p>① 赤川・新内藤川の河川改修の進捗状況を伺う。</p> <p>② 旧出雲市市街地の雨水の排水について、最近の気象にみられる短時間のゲリラ豪雨や、宅地や商業地などの開発による田畑の減少などにより、状況が以前と変わってきた。そこで次の点を伺う。</p> <p>ア 現在の排水路は、どのような考え方で設置されたのか伺う。</p> <p>イ 市街地の冠水・浸水対策の状況について伺う。</p> <p>ウ 雨水の排水計画について、どのようになっているのか伺う。</p> <p>エ 再度、各地域の状況を調査され計画の見直し、検討をすべきではないかと考えるが、市の考えを伺う。</p>				

質問者	10 井原 優		答弁を 求める者	記 事
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記 事	
(1) 米価下落・農業振興のあり方・TPP参加について		市長		
①	<p>今年度産の生産者米価は大暴落し、40年前の米価水準となった。これでは、農家のコメをつくる意欲は奪われ、米を作る農家はいなくなるのではないかと伺う。以下4点について伺う。</p> <p>ア 今年度産の米価下落は、まさに非常事態と言える。米価の下落は、政府が米の過剰在庫を認識しながら、何の対策も取らず、5年後に米の需給対策から撤退方針を打ち出したことがおもな原因と考えられるが、市に認識を伺う。</p> <p>イ 米価下落に対して、市として、国、県に緊急対策も含めて、どのような要望をされたのか伺う。</p> <p>ウ 今後、地域に根ざした農業振興のあり方について伺う。</p> <p> a 規模の大小にかかわらず、すべての農家に対して支援していくことが考えられるが、伺う。</p> <p> b 新規就農者、定年帰農者などを支援していくことが考えられるが、伺う。</p> <p>エ 「例外なき関税撤廃」を原則とするTPP交渉の「妥結」となれば農業と農村が壊滅的な打撃をうけるのは必至です。地域農業や農地をまもるためには、TPP交渉からの撤退以外にないが、市の認識を伺う。</p>			
(2) 原発再稼働・避難計画について		市長		
①	<p>中国電力は、昨年12月25日、島根原発2号機の再稼働に向けた適合性確認審査（安全審査）を原子力規制委員会に申請しました。フィルター付きベント（排気装置）や防波堤、免震重要棟設置など原発による大事故を想定しながら、事故時の避難計画は自治体まかせで、住民の安全には背を向け、原発再稼働に躍起となる姿勢は許せません。また、島根原発周辺には「活断層はない」と強弁してきました。しかし、その後1998年8km、04年には10km、08年に22kmと訂正を繰り返してきました。この活断層見落としに対し、ある週刊誌は「島根原発の活断層は成長する」と揶揄しました。</p> <p>科学者は「日本列島は地震の活動期に入った」と警告しています。日本で判明している活断層は2千余りあり、そのうち、政府が調査済みの活断層は110か所しかありません。避難ルートに宍道断層が横切っており、原発再稼働など論外と考えるが、所見を伺う。</p> <p>② 島根原発から30キロ圏内約40万人をどう圏外に避難させるか、避難手段の確保、避難経路、避難所設置、入院患者など要援護者の避難など課題は山積していますが、問題点を伺う。</p>			

<p>ア 避難行動—交通渋滞が避けられず、被爆の危険性が高まると考えられるが、伺う。</p> <p>イ 「安全な避難先」—風向きにより原発から50キロm圏まで到達することが考えられるが、伺う。</p> <p>ウ 高齢者、障がい者、乳幼児その他とくに配慮を要する人の移動の困難さがあるが、伺う。</p> <p>エ 緊急被ばく医療体制確保等の課題があるが、伺う。</p> <p>オ 原発再稼働の必要性に理解を示す方からも「避難など無理だ」との声が上がっていますが、原発撤退こそが市民の安全と考えるが、所見を伺う。</p>		
<p>(3) 改定国保法による「広域化（都道府県単位化）」について</p>		
<p>① 国保の「広域化」は、国庫負担の削減がねらいであり、実施されれば、国保料の値上げが懸念されると考えられるがいかがか。</p> <p>② 国保の「広域化」は、一般会計から国保特別会計への法定外繰り入れができないことが懸念されるがいかがか。</p> <p>③ 国保の「広域化」は、負担増・徴収強化が一層強められ、住民の福祉としての機能が後退するおそれが考えられるが、市として国に中止を求めるべきと考えるがいかがか。</p>	<p>市長</p>	

質問者	32 珍 部 全 吾		
質問事項・質問内容		答 弁 を 求める者	記 事
(1) 出雲市駅付近連続立体交差事業について			
<p>① 第1期工事は平成10年にJR、平成12年に一畑電鉄の高架化で平成13年に完了した。第2期工事は費用対効果を勘案し、平成13年より10年間に整備計画を示すとされた。</p> <p>ア 今日まで県と市とはどのような話し合いがなされたか、また、市長は知事とこの事について直接話し合った事があるのか？</p> <p>イ 2期工事を保留にする事で都市計画道路の早期完成を約束されたが、その後の状況は？ また、今市・古志線2工区のように、その後地元への話し合いもないが、これについて市長の見解を聞かせてください。</p>		市長	
(2) 出雲市の少子高齢化対策について			
<p>① 今年の出生者数は1,500人余り、私の世代（S25年出生）は、3,000人余りです。大変なスピードで人口減が進んでいく現実です。</p> <p>ア 地域の将来構想について真剣に考える時である。私は、以前より医療を中心とする地域経済の活性化を提案してきたが市長の考えは？</p> <p>イ TPPによって益々農業従事者減が予測できる。地域の自給自足についての考え、また、地元食材で生活出来る人間作りが大切になると思うが市の考えは？</p>		市長	

質問者	14 板垣成二		
質問事項・質問内容		答弁を 求める者	記事
(1) 出雲観光大使について			
<p>① 「平成の大遷宮」や千家国麿さまと高円宮典子さまのご結婚を契機に「出雲」は全国的に注目され、交流人口1000万人を掲げる出雲市にとってありがたい追い風となっています。市長も出雲の魅力を広くPRする「出雲シティセールス事業」を展開するとされ、本市出身監督による映画製作支援や地元女子サッカーチームのプロスポーツ化支援等に取り組まれています。PRにはあらゆる方法を活用すべきだと思いますが、その一つに観光大使の存在があります。今後、観光大使の皆さんにも大いに活躍していただきたいと願っています。</p> <p>そこで、下記について伺います。</p> <p>ア 現在の観光大使の人数。</p> <p>イ 観光大使の皆さんの実績は</p> <p>ウ 観光大使の皆さんに市としてどのような働きかけ、接触をしているのか。</p> <p>エ 今後、観光大使の皆さんにどのような活動を期待しているのか。</p>		市長	
(2) 出雲市の財政状況について			
<p>① 市長は今年度からの3年間を集中改革期間と位置づけ、行財政改革に取り組んでおられます。しかし、行財政改革は痛みを伴うものであり、当然、市民の皆さんの理解と、みんなががんばろうとの共通の思いが醸成されなければ達成できないと思います。</p> <p>出雲市の歳入の約3割は国からの交付税です。出雲市中期財政計画(H25~27)では、「合併算定替による特例加算措置が段階的に縮減され、一本算定となる平成34年度には50億円近い減額が見込まれ、さらに、市債の元利償還金の減少に伴う交付税措置分の減や人口の減少に伴う影響など他の要因を含めると、平成23年度と比較し、実に80億円を超える減額が見込まれる」と分析しています。ただ、この金額については、今年の3月議会の会派代表質問に対する答弁や、それ以降の委員会での答弁で、50億円の減額のうち、1/3程度が圧縮されることが明らかにされました。また、3月議会で市長からは、年末に示される予定の交付税見直しの全体の制度設計や消費税率の引き上げ判断等の状況を踏まえつつ、出雲市財政計画のローリングを行い、見直しを図っていくとの考えが示されました。</p> <p>そこで、歳入面から見た今後の出雲市の財政状況について現在どのように分析されているのか伺います。</p>		市長	

(3) 地方創生について	市長	
<p>① 衆議院解散直前に「まち・ひと・しごと創生法」が成立しました。 そこで、下記の点について伺います。</p> <p>ア 「地方創生」とはどのような内容か。</p> <p>イ 市としての取り組み方針は。</p>		

質問者	3 湯 浅 啓 史	答 弁 を 求 め る 者	記 事
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
(1) コミュニティセンターの果たす役割について		市長	
<p>① コミュニティセンター設置の目的</p> <p>ア 公民館からコミュニティセンターへの改編で目指したものは何か</p> <p> a 制度上の差異</p> <p> b 機能の差異</p> <p>イ 行政サービスとコミュニティセンターの関わりはどのようにとらえるべきか</p> <p>ウ 支所とコミュニティセンターの関係はどのようにとらえるべきか</p> <p>② コミュニティセンターが行う事業</p> <p>ア 自主企画事業予算化の手順</p> <p>③ コミュニティセンターの管理・整備について</p> <p>ア 長寿命化を念頭に置いた管理・整備の進め方</p> <p>イ 管理費・施設整備費算出の手順</p> <p>④ 今後の方針について</p> <p>ア 43センター体制は今後も維持されるのか</p> <p>イ センター職員数の見直しは検討対象か</p>			
(2) 出雲市の広報活動におけるWebサイト（ホームページ）の活用について		市長	
<p>① 用語の意味について</p> <p>ア ドメイン</p> <p>イ Webサイト</p> <p>ウ ホームページ</p> <p>エ インターネット</p> <p>② 出雲市ドメイン（IZUMO.SHIMANE.JP）内でネット上に公開される情報には、どのようなものがあるのか</p> <p>③ 全体のコントロールはどこが担うのか</p> <p>④ Webサイト（ホームページ）活用の意識付けについて</p> <p>ア 職員教育</p> <p>イ 幼稚園・小学校・中学校・コミセンの情報掲載</p>			
(3) 公共施設利用料金の見直しについて		市長	
<p>① 公共施設利用料金について</p> <p>ア 減免措置が設けられることはあるのか</p> <p> a 利用目的別</p> <p> b 利用者年齢構成別</p> <p> c 市内外利用者別 等</p> <p>イ 現在無料の施設（学校体育館・コミセン等）について使用料金有料化が検討されているのか</p>			